



西予市移住交流アクションプラン

～10年後も定住できるまちづくりを目指して～

西予市移住交流促進協議会



目次

• 西予市移住交流アクションプランの背景	1～3
• 西予市移住交流アクションプランについて	4
• 西予市移住交流促進協議会	5
• 西予市移住交流アクションプランの検討方法	6
• 理想のまちを思い描く基本方針	7
• 各部会の協議内容について	8～11
• 西予市移住交流アクションプラン	12
• 西予市移住交流アクションプラン体系図	13
• 令和2年度西予市移住交流促進協議会 委員名簿	14

西予市移住交流アクションプランの背景

【西予市の人口減少課題について】

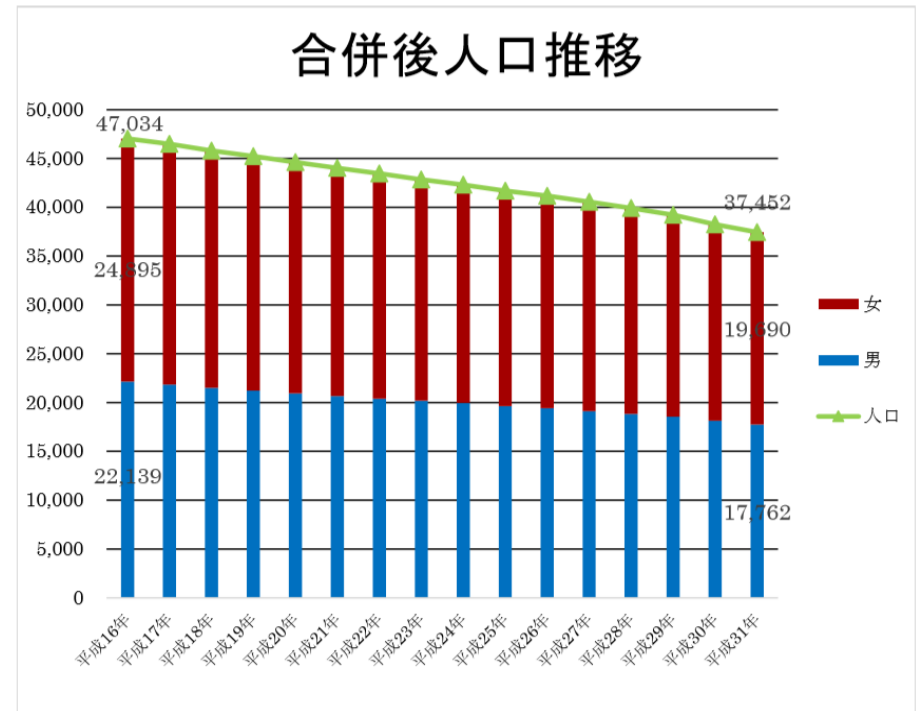
1. 人口推移

平成 16 年(2004 年)合併以降も人口は減少を続け、令和元年(2019 年)まで合併時から約2割の人口が減少しています。

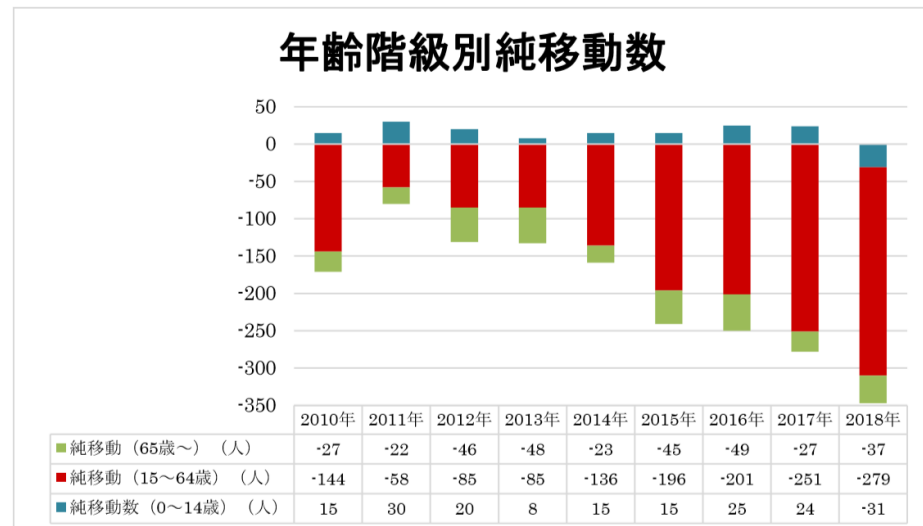
特に若年生産年齢人口の減少が年少人口の減少につながっている状況で人口減少が進む要因となっています。

2. 社会増減

転出については、市内に高等教育機関(大学・専門学校等)、希望する職種がないことから、10 代後半の転出が顕著で、転出者の約 24%しか帰ってきておらず、子どもを産み育てる世代が転出しているため、出生数が増えないという悪循環に陥っています。さらに 65 歳以上では、周辺地域における商店や医療機関の閉鎖によって、生活の利便性が低下し、市外に居住する子どもを頼って転出するケースも増えてきています。

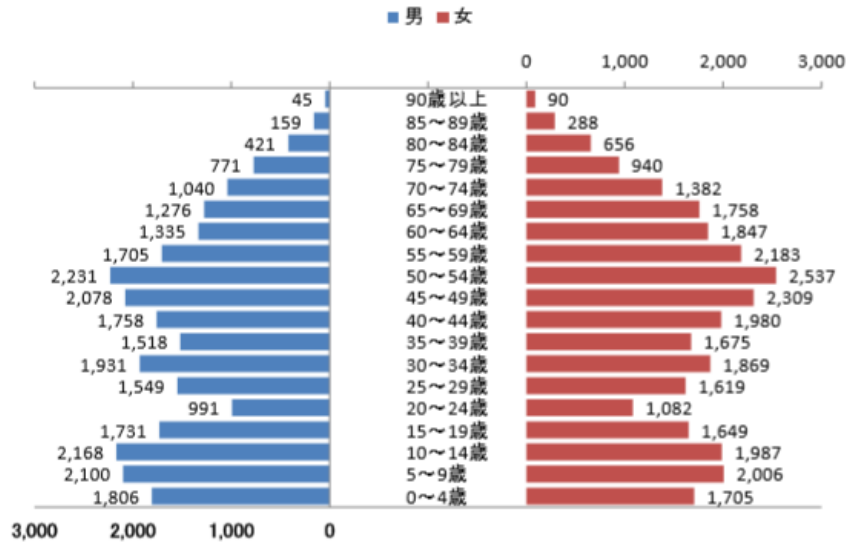


西予市住民基本台帳参照 (毎年3月31日時点人口 日本人のみ)



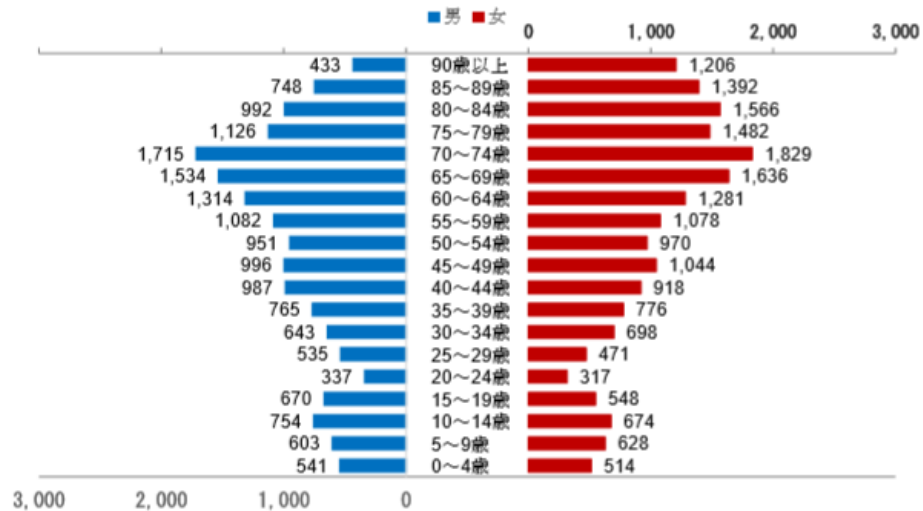
西予市の人口ピラミッド及び高齢化率

1980年人口ピラミッド



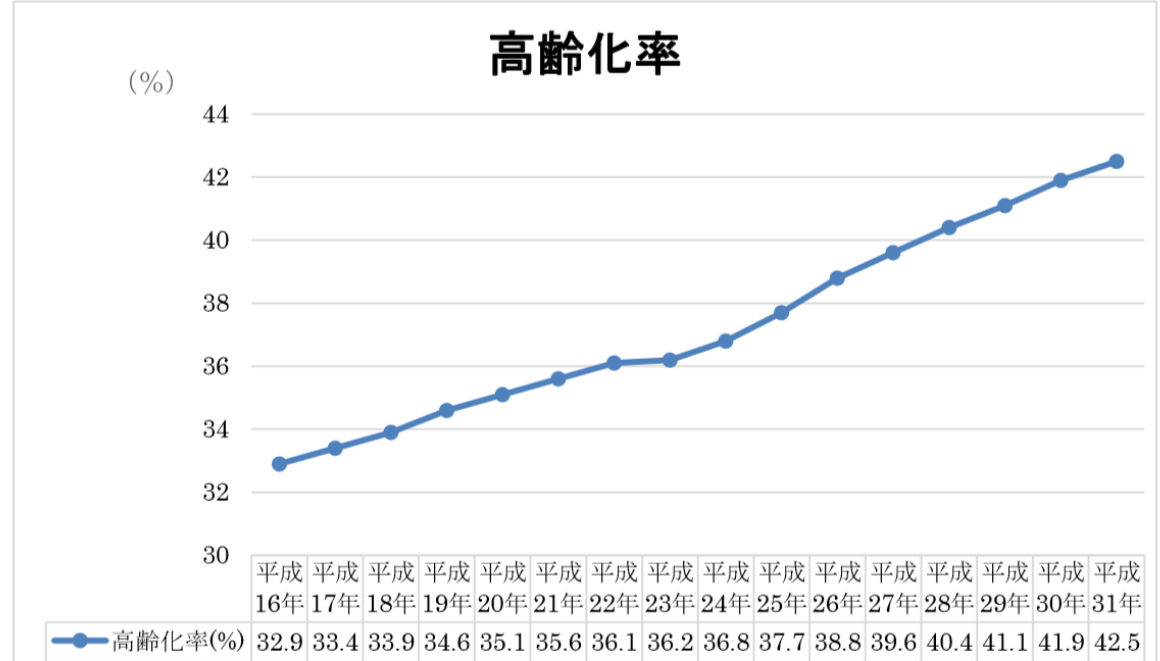
経済分析システムデータ参照

2020年人口ピラミッド



経済分析システムデータ参照

高齢化率



西予市住民基本台帳参照（毎年3月31日時点年齢別人口から算出 日本人のみ）

第2期西予市人口ビジョンから抜粋

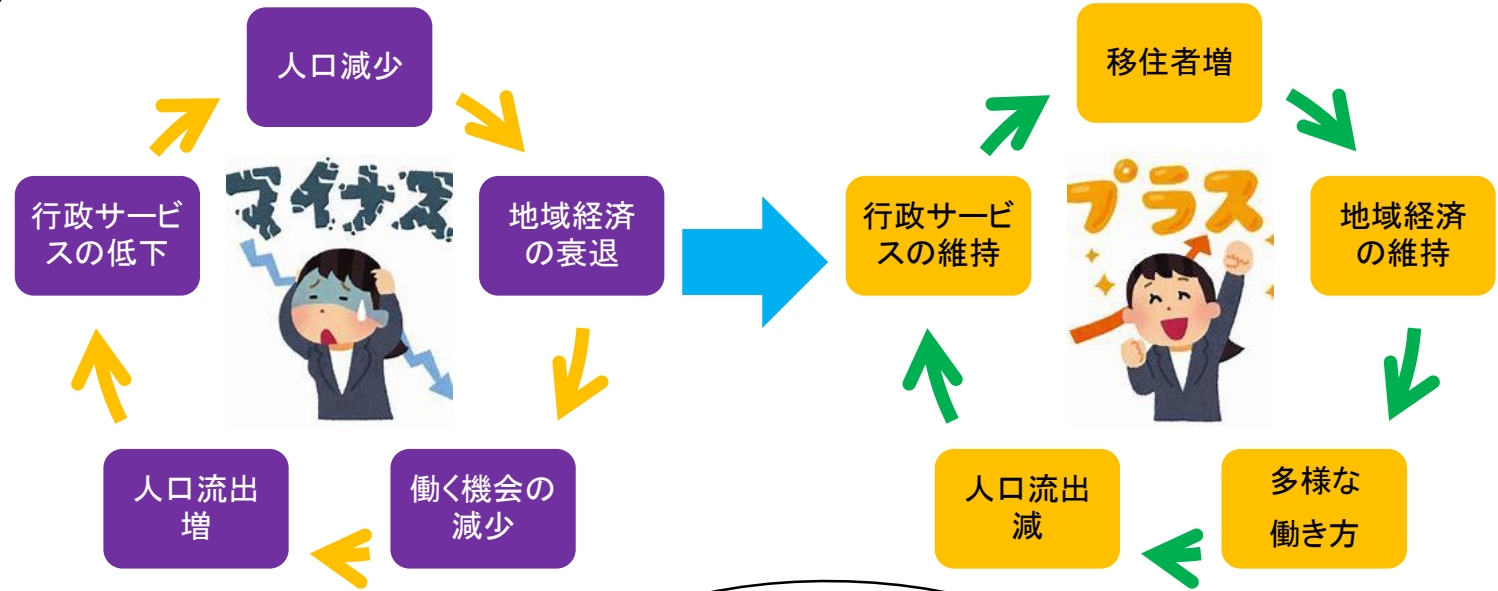
若い人たちの減少が
顕著だなア...



3、人口減少課題対策

人口減少はあらゆる面に課題を引き起こします。地域経済の衰退による影響を受けるのは若い世代で、働く場所がなければ転出し、市の将来を担う若者が減少することによって、出生者数も減少してさらに人口減少が加速することになり、さらに税収の減少により行政サービスが低下し、若い世代以外も転出するという人口減少の負のスパイラルに陥ってしまいます。

人口減少を止めることは難しく、「住みやすいまちづくり」を時間をかけて行うことで、少しでも減少を緩やかにすることが必要です。それには、危機意識を「ジブンゴト」として、市民や事業所等と共有し、それぞれが連携、協働して取り組みを行う必要があります。



人口の推移

(単位：人)

	2010年	2015年	2019年 (12月末)	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
低位	43,456	40,548	37,248	33,535	30,085	26,979	24,231	21,585	19,224	17,190	15,380
基準値	43,456	40,548	37,248	33,660	30,345	27,365	24,726	22,149	19,868	17,933	16,224
高位	43,456	40,548	37,248	33,886	30,866	28,208	25,905	23,585	21,567	19,954	18,570

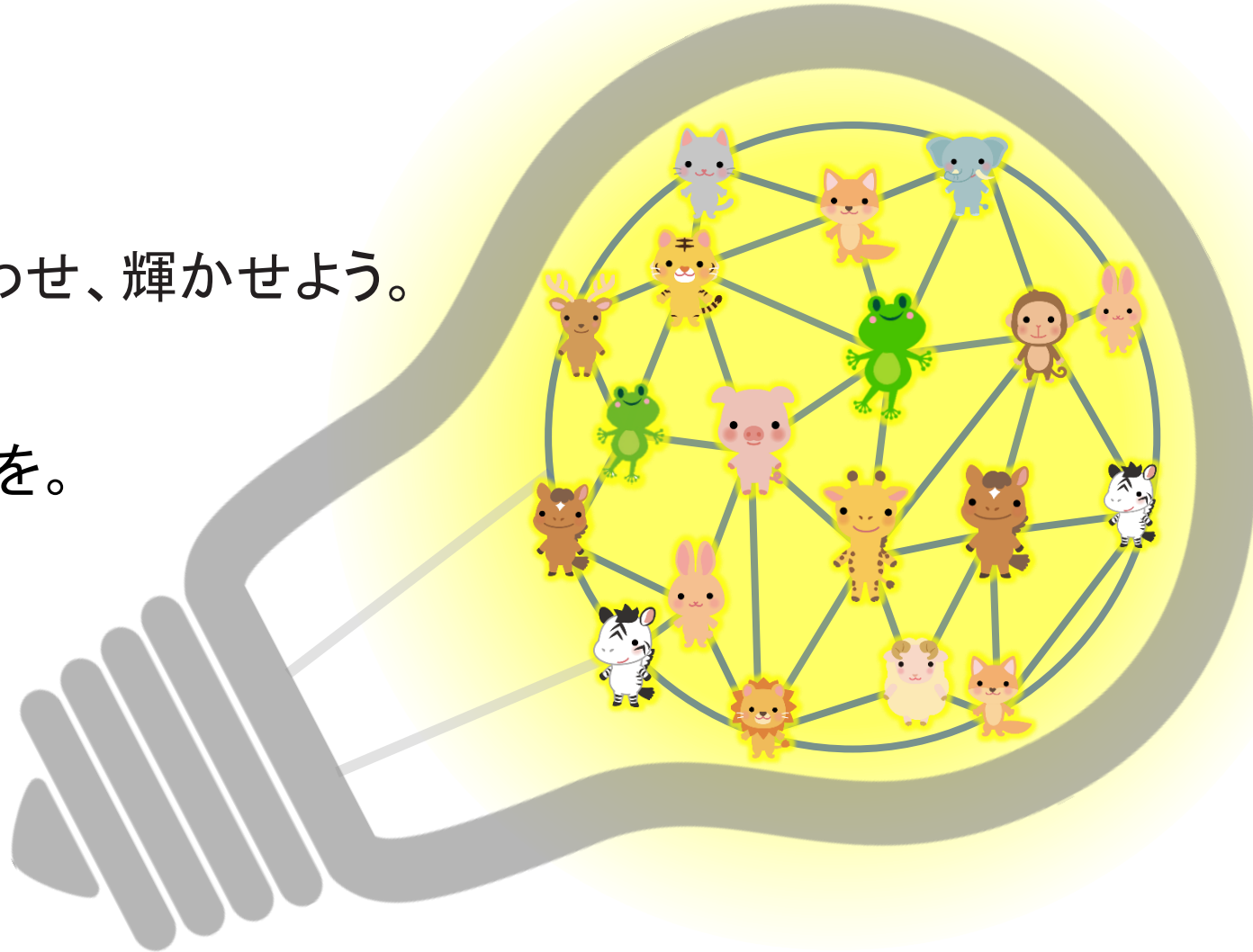
少しでも緩やかにしないと。



西予市移住交流アクションプランについて

- ・市民、事業所、地域づくり団体、行政などオール西予で移住定住について考えます。

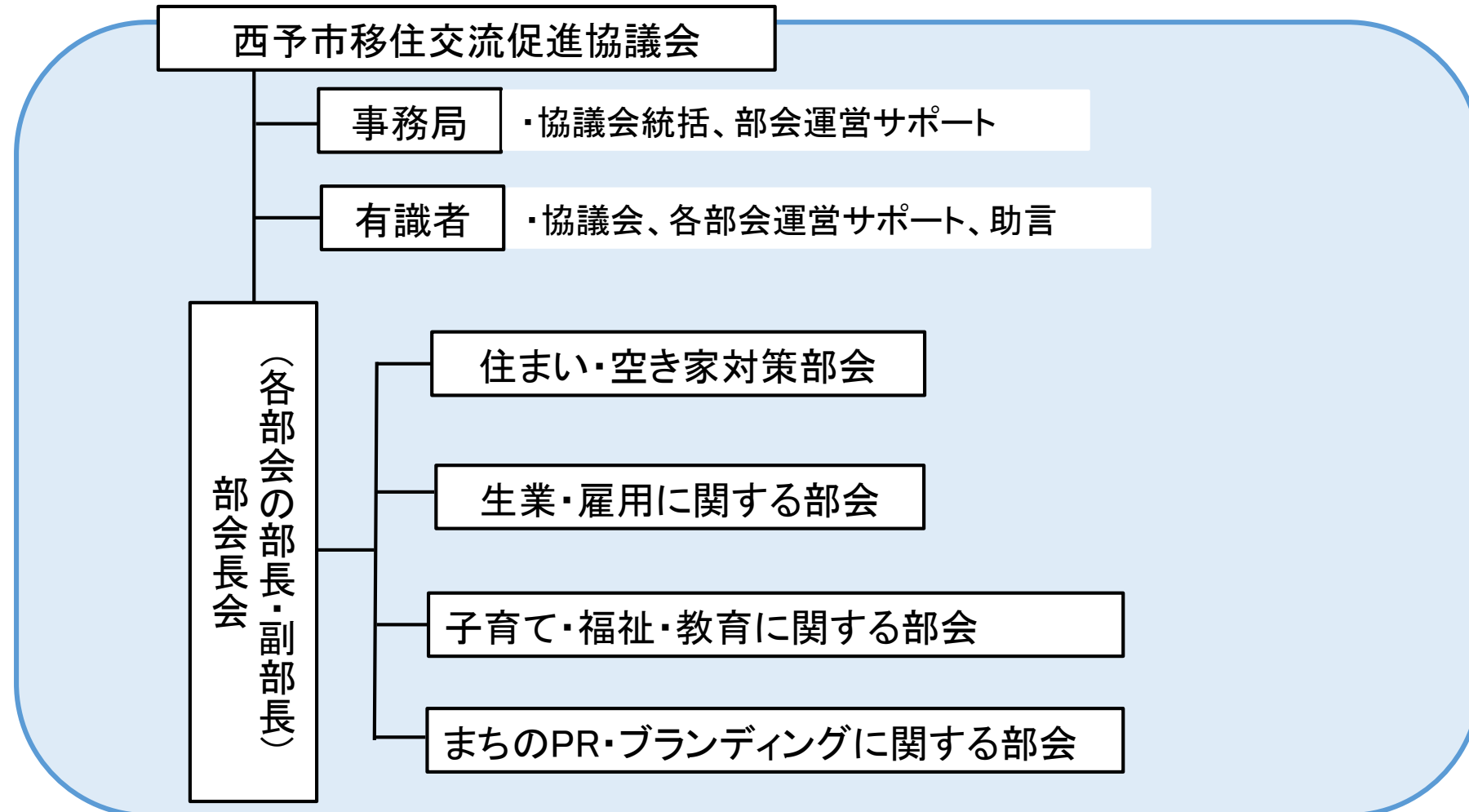
みんなで力をあわせ、輝かせよう。
ひとりひとりを。
そして、まち全体を。



西予市移住交流促進協議会

西予市ならではの豊かな暮らしを再発見・再構築し、地域内外とのパブリックリレーションズを築くことにより、移住交流に向けたマッチングを促進するための場づくりのため、西予市移住交流促進協議会を設置します。

西予市移住交流促進協議会では、アクションプランの策定及び、移住に関するあらゆる分野を多面的思考に基づき検討を重ねるため、部会を設置します。

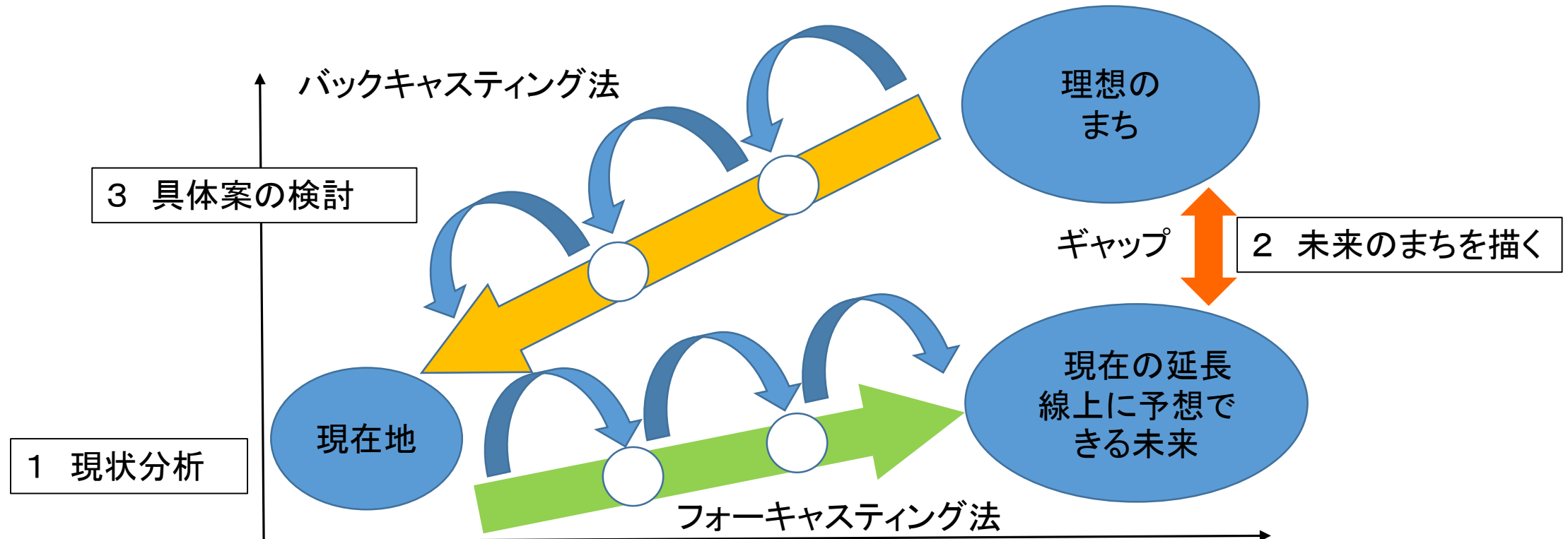


西予市移住交流アクションプランの検討方法

1、施策の検討手法

バックキャスティング法を採用し、協議会、各部会において施策の検討を行いました。

※バックキャスティング法とは未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って今何をすべきかを考える未来からの発想法。バックキャスティング法と対をなすのがフォーキャスティング法で、現状分析や過去の過去の統計、実績、経験などから未来を予測する手法。現在を起点として考えるので、目指す目標がその都度変わり、場当たりの対応になりやすい恐れがある。



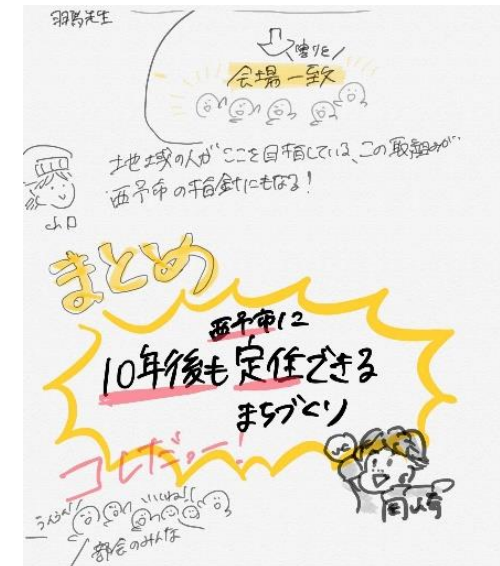
理想のまちを思い描く基本方針



10年後も定住できるまちづくり

移住者が住みやすいまち = 自分たち(市民)が住みやすいまち

私たちが、10年後も定住し続けるまちづくり、くらしをイメージし、その理想に近づくように取り組むことが、移住施策につながる。



各部会の協議内容について

1. 住まい・空き家対策部会

協議内容: 西予市への移住希望者が、空き家などの住宅に住むための課題を発見する。
空き家を借りやすい環境づくり。

- ・空き家の数を減らしたい！
- ・空き家のマイナスイメージを変えたい！
- ・リフォーム塾とかできないかな？



空き家・空き店舗
(予備軍含む)

利活用

- ・改修
- ・居住
- ・開業



移住希望者



住まい・空き家対策部会

各部会の協議内容について

2. 生業・雇用に関する部会

協議内容: 多様な働き方の検討、地元事業所とのマッチングを促進するため課題を発見する。
一次産業の後継者不足や商工業の事業承継に関する課題と対策を検討。

- ・やりたいことが出来るまちになればいいな。
- ・人手不足に悩む事業所さんを支援したい！
- ・西予市でたくさん起業してほしい！



事業所の
事業承継



一次産業の
後継者不足

多様な働き方



- ・マッチング
- ・創業支援
- ・人財育成
- ・半農業態
- ・特定地域づくり事業



移住希望者

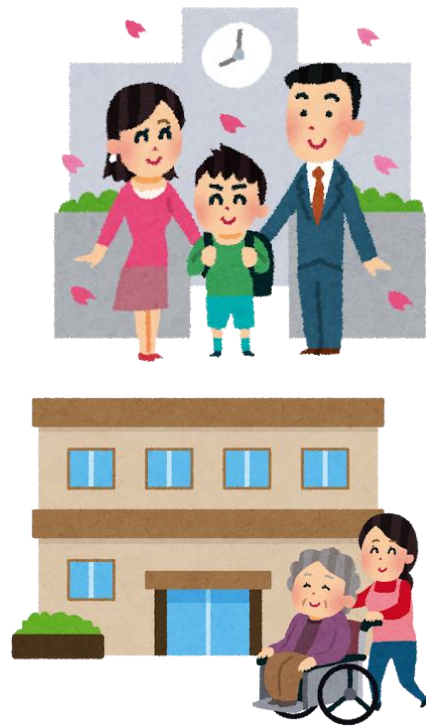


生業・雇用に関する部会

各部会の協議内容について

3. 子育て・福祉・教育に関する部会

協議内容: 子育てしやすいまちの検討、教育に関する検討、福祉に関する検討



子育て・教育・福祉環境の充実



移住希望者
・子育て世代
・早期退職組

- ・子育てをみんなで見守ろう！
- ・子どもたちに質の高い教育を受けさせたい！
- ・子どもたちはどんな考えをもっているかな？



子育て・福祉・教育に関する部会

各部会の協議内容について

4. まちのPR・ブランディングに関する部会

活動内容: 西予の暮らしのPR(どんなターゲットに向けて、どのような手段でパブリックリレーションズを構築するか、戦略を検討する。潜在的な移住希望者へのアプローチ手法の検討。

- ・来たくなる西予市を情報発信したい!
- ・西予市のファンづくりをしよう!
- ・市民みんなに西予市を好きになってほしい!



市内外のターゲット
(潜在的な移住希望者)

- ←
- ・PRの構築
 - ・ブランディング
 - ・情報発信



まちのPR・ブランディングに関する部会

10年後も定住できるまち



市民が
移住者が

1 シビックプライドの醸成

- 1 「自給力100%」の周知・普及
- 2 西予市のファンづくり

連 携			
市内事業所	行政	地域づくり団体	移住定住交流センター

4 空き家の貸し借りがしやすい西予市

- 1 空き家の利活用について学べる場づくり
- 2 貸し手と借り手をつなぐ仕組みづくり
- 3 空き家を貸し出したい意識の促進

連 携			
市民(空き家所有者)	行政	地域づくり団体	移住定住交流センター

5 子どもたちに選ばれる西予市

- 1 子育てを見守り、働きやすい職場づくり
- 2 西予市の高校の存続
- 3 オンライン教育の充実
- 4 市外に住む出身者のニーズ把握

連 携			
市内事業所	行政	地域づくり団体	移住定住交流センター

都市部の住民など

西予を知る・訪れる
好きになる

西予市民・出身者

西予で育つ
誇りを持つ



西予に住みたい!

都市部で暮らす

自分に合った
住まいを見つける

自分に合った仕
事を見つける

西予に帰ろう



せいよ暮らしを始める



出会い

趣味

子育て

つながり・交流

遊び

学び

セカンドライフ



3 多様な働き方ができる西予市

- 1 多様な就労形態(副業・半農など)の環境づくり
- 2 子どもたちが地元企業を選べる環境づくり
- 3 やりがいのある仕事づくり
- 4 起業しやすい環境づくり

連 携			
市内事業所	学校	行政	移住定住交流センター

西予市移住交流アクションプラン施策体系図

基本方針

10年後も定住できるまちづくり

成果目標

1 郷土愛を育む西予市
(シビックプライド)

2 戻りたくなる西予市

3 多様な働き方ができる西予市

4 空き家の貸し借りがしやすい西予市

5 子どもたちに選ばれる西予市

結果目標

1 「自給力100%」の周知・普及

2 西予市のファンづくり

1 帰ってきやすい西予市のPR

2 世代・職種・地域を超えた交流の促進

1 多様な就労形態(副業・半農など)の環境づくり

2 子どもたちが地元企業を選べる環境づくり

3 やりがいのある仕事づくり

4 起業しやすい環境づくり

1 空き家の利活用について学べる場づくり

2 貸し手と借り手をつなぐ仕組みづくり

3 空き家を貸し出したい意識の促進

1 子育てを見守り、働きやすい職場づくり

2 西予市内の高校の存続

3 オンライン教育の充実

4 市外に住む出身者のニーズ把握

行動目標

①自給力100%の作物の調査
②自給力100%のまちのPR

①27地区のスープづくり(魅力具現化・交流)

①市内Uターン者を紹介した情報誌の作成・配布

①Uターン者向けの移住イベントの実施
②学生と地域の若い世代の交流の場づくり
③西予市出身者の連絡網の充実・人的交流

④多様な働き方を実感できるインターンシッププログラムの実施

①企業への副業状況リサーチや情報交換

①事業所同士の取組の共有や補助制度の協議

①特定地域づくり事業・ワーカーズコープ等の取組推進

①事業承継のマッチング(高いバンク・農地バンク)
②コワーキングスペース・シェアハウス等の整備

①リノベーション・DIY講座の開催
②空き家利活用に関わる人の募集・発掘

①先進事例地への視察
②空き家対策専門組織の検討

①空き家の呼称の見直し
②空き家貸出メリットの見える化
③聞き取り調査の実施

①子育てを応援する企業の情報発信や支援

①高校や大学と連携した講座の開設
②学校と地域の取組共有や公営塾との連携

①公民館へのオンライン講座の情報提供

①アンケートによる情報収集

令和2年度西予市移住交流促進協議会 名簿

会長	河野直樹
副会長	羽鳥剛史

◎は部会長 ○は副部会長 (敬称略)

住まい・空き家対策部会		生業・雇用に関する部会		子育て・福祉・教育に関する部会		まちのPR・ブランディングに関する部会	
野村地域自治振興協議会	◎シーバース 玲名	野村地域自治振興協議会	◎松本 恭典	(福)西予総合福祉会	◎宇都宮 伸郎	地域づくり組織(明浜)	◎岡崎 晃裕
石城ロマンの里応援隊	○井関 晃平	西予市商工会	○岡田 拓巳	西予市PTA連合会	○白武 和嘉子	(一社)西予市観光物産協会	○三瀬 裕子
かりとりもさくの会	亀井 亮太	俵津スマイル	酒井 宇之吉	(福)西予市野城総合福祉協会	大田 城司	地域づくり組織(野村)	赤松 優子
高川地域づくり会	玉川 浩幸	横林自治振興協議会	井上 謙二	(福)三瓶福祉会	藤原 由美	地域づくり組織(城川)	辻本 京子
西予市商工会	二宮 華奈子	かりとりもさくの会	平野 拓也	(福)西予市社会福祉協議会	長橋 忍	地域づくり組織(三瓶)	宇都宮 一矢
建設課	水口 優太	あけはまシーサイドサンパーク	大津 清次	子育て支援課	清家 亮	地域づくり組織(宇和)	河野 直樹
経済振興課	中村 忠史	(株)ゆうぼく	岡崎 晋也	福祉課	脇本 美登利	愛媛大学	羽鳥 剛史
教育総務課	中井 圭介	百姓百品(株)	西岡 真人	教育委員会事務局	酒井 康次	移住者	岩下 紗矢香
		(有)太陽ファーム	本田 真喜	乳幼児保護者	宮本 希己江	情報推進室	富永 真央
		農業後継者	井上 清悟	長寿介護課	柴田 直樹	ジオパーク推進室	榊山 匠
		経済振興課	中村 忠史				
		農業水産課	山本 時也				
		林業課	辰己 英作				

事務局	西予市政策企画部まちづくり推進課
	(一社)西予市移住定住交流センター